



成城大学
国際編集文献学研究センター
Research Center for Textual Scholarship
Seijo University

編文研 シンポジウム

ヘルダーリン 学術版編集の歴史

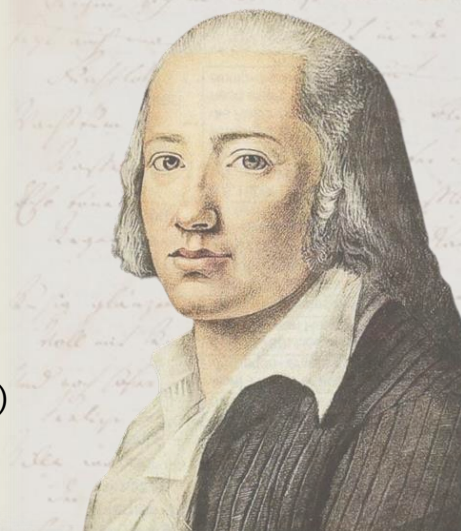
——翻訳のための編集を考える

2023年7月15日(土)

13:00 ~ 16:30

会場：成城大学 9号館
グローバルラウンジ

定員：50名 (事前申し込みが必要です)



■プログラム

著作集の配列とジャンル区分の問題
——ヘリングラートを中心に

影に隠れた史的批判版全集
——ツィンカーナーゲル

成長する有機体としての詩
——バイスナーとシュトゥットガルト版

編集のミュトスとロゴス
——ザトラーとフランクフルト版

学術版編集の可能性
——シュミット、クナウプ、レイタニ

モデレーター

* 成城大学国際編集文献学研究センター 特別客員研究員
**成城大学国際編集文献学研究センター センター長

小野寺賢一
(大東文化大学外国語学部准教授)

林英哉
(三重大学人文学部特任准教授)

大田浩司
(帝京大学外国語学部教授)

益敏郎
(熊本大学大学院人文社会科学部准教授)

矢羽々崇
(獨協大学外国語学部教授) *

明星聖子
(成城大学文芸学部教授) **

■問い合わせ：
成城大学国際編集文献学研究センター事務局
E-Mail：ts-office@seijo.ac.jp
■主催：成城大学国際編集文献学研究センター

■参加申し込み：
7月10日(月)までに下記URLまたは右QRコードから
Googleフォームにてお申し込みください。
<https://forms.gle/SP35JDdKyK5sKRwt6>
■参加費：無料



◆令和5年度 科学研究費補助金 基盤研究 (A)
「第三世代としての編集—古典の再生と文学研究の活性化をめざす編集文献学的研究」 (研究代表者：明星聖子) による事業

科研費
KAKENHI

シンポジウム内容

フリードリヒ・ヘルダーリン（1770-1843）は、多くの作家や哲学者に影響を与え、日本でも詩人の伊東静雄や作家の三島由紀夫らによって受容された。語られることの多いこの詩人は、しかし、読まれることの少ない詩人でもある。

このヘルダーリンの詩を今の日本の読者層に届けるべく、新たな翻訳を企画するなかで、テキスト編集の問題に向き合う必要が出てきた。どの版を底本にするか、という単純な問題ではない。手稿が写真版として参照可能になった今、往々にして複雑を極める手稿を参照し、どう翻訳に活かすかなど、検討すべき課題は多い。

そのために、4つの「史的批判版」を中心に、これまでのヘルダーリンの学術版編集の歴史をたどる。その編集の歴史においては、ヘルダーリンの狂気と詩作のかかわりをどう理解するかという問題が大きな位置を占めている。後期の作品を狂気の産物とするかつての立場から、次第に詩論にもとづいた厳密な構成を持つものだとする理解へと変化していった。そして、詩人の作った手稿空間と向き合い、そこから作品の重層性を読むことが求められている。今回のシンポジウムは、こうした編集や研究の変化を踏まえ、新たな翻訳の基盤となるテキストを編集するための土台作りの試みである。

登壇者プロフィール

小野寺 賢一（おのでら けんいち）



大東文化大学外国語学部准教授。専門はドイツ近代文学（ジャンル詩学・抒情詩理論・リュリコロジー）。主な業績に、論文「抽象的な作者をめぐるリュリコロジーと審級理論のあいだの論争について」（『ワセダ・ブレッター』第30号所収）がある。

林 英哉（はやし ひでや）



三重大学人文学部特任准教授。専門はヘルダーリンをはじめとする近現代ドイツ文学。主な業績に、著書『Lang ist die Zeit, es ereignet sich aber das Wahre』. *Hölderlins Poetik des ‚Ereignisses‘* (readbox unipress in der readbox publishing GmbH) がある。

大田 浩司（おおた こうじ）



帝京大学外国語学部教授。専門は近代ドイツ文学・文化・思想、日独文化比較。主な業績に、著書 *Der freie Gebrauch des Eigenen. Zur Konzeption von Bildung und ästhetischer Erziehung bei Friedrich Hölderlin* (Königshausen & Neumann) がある。

益 敏郎（えき としろう）



熊本大学大学院人文社会科学部准教授。専門はドイツ文学を中心とする文化・思想研究。主な業績に、論文「ペーター・ヘルトリック『ヘルダーリン』における現実の発明—日常、家族、デモクラシーの物語」（『人文科学論叢』第4号所収）がある。

矢羽々 崇（やはば たかし）



獨協大学外国語学部教授。専門は近現代ドイツ文学。主な業績に、著書『詩人の個人性と社会性—ヘルダーリンの詩「追想」』（近代文芸社）、『日本の「第九」—合唱が社会を変える』（白水社）がある。

明星 聖子（みょうじょう きよこ）



成城大学文芸学部教授。専門は近現代ドイツ語圏文学。主な業績に、著書『新しいカフカー編集が変えるテキスト』、『カフカらしくないカフカ』（慶應義塾大学出版会）、共編著『テキストとは何か—編集文献学入門』（慶應義塾大学出版会）がある。

会場案内

小田急線「成城学園前」駅中央改札より徒歩4分。
9号館へは立て看板に沿って正門より左手にお進みください。
会場は、9号館入って右手のグローバルラウンジになります。

◆ヘルダーリン肖像画、手稿写真はWikipedia Commonsより使用

